

令和3年度 児童発達支援・放課後等デイサービス ガイドラインに基づく 自己評価結果

台東区松が谷福祉会館 こども療育室  
令和4年1月公表

台東区松が谷福祉会館こども療育室では、区内在住のお子さんに提供している「児童発達支援」及び「放課後等デイサービス」の支援の質の向上・支援内容の適正化に向けて、ガイドラインに基づく自己評価を実施しました。下記のとおり、結果を公表いたします。

●実施期間	令和3年11月～12月
●回収率	児童発達支援 97.4% (115/118人) 放課後等デイサービス 75.0% (6/8人) 職員 100.0% (30/30人)

項目(骨子)	保護者・職員アンケートからの考察	こども療育室からのコメント・改善目標、工夫点など
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員、スペース、職員配置等は基準を満たしているが、より良い環境が求められている。</li> <li>清掃や安全点検に努めているが、建物の老朽に伴う設備の使いにくさや心配が生じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会館内療育事業の拡充経過や建物の経年劣化に伴う構造上の課題があることは認識しています。今年度は、衛生面の心配があった絨毯の張替工事を行いました。また、危険箇所を保護材で補修するなど、安全対策を行いました。今後も、ご意見を参考に設備や環境の整備、日々の清掃などを通して清潔で明るい雰囲気づくりを心掛け、安心して通所していただけるよう努めていきます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、グループの人数を見直して療育を提供したことにより、空間や職員配置にゆとりを感じていただきました。提供側としても、環境面の利点をいかして丁寧な支援に努めました。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施しているものの、周知が十分ではないと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員打合せや職場内研修、自己評価(平成30年度より実施)、第三者評価(平成28年度実施)を通して業務改善に繋がっています。また、より良い支援を検討するための会議(外部講師含む)や外部研修への計画的な参加により、職員の更なるスキルアップを図っています。オンラインを活用するなど工夫により職場内研修の機会を確保しました。</li> <li>平成30年度より、自己評価結果を区のホームページで公開しています。</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援計画の目標設定やそれに基づく活動プログラムの設定および見直しについて、一定の評価をいただいた。一方で、ガイドラインの内容周知が十分ではないと思われるご意見もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理評価をはじめ、言語・運動面の標準化された各検査により全体の発達状況を把握したうえで、児童発達支援管理責任者を含む多職種によりガイドラインに基づく支援計画の作成及び活動プログラムの決定を行っています。さらに、支援前後の綿密な打合せやケース会議、モニタリング、館内相談事業所との連携等、様々な機会を通し総合的な判断のもと支援計画やプログラムの見直しを行っています。</li> <li>今後も、保護者の希望や願いをお聞きしながら、一人ひとりのお子さんに合わせた支援計画の丁寧な説明(ガイドラインとの繋がりを含め)や活動プログラムの提供に努めていきます。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭支援プログラムの提供の仕方に不足を感じられるご意見をいただいた。</li> <li>保護者同士の連携の設問で回答を迷われた保護者が4~5割いた。感染症対策としてご理解はいただいているものの要望への対応が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立・私立問わず保育園、こども園、幼稚園等との連携を積極的に進め、地域全体の子育て支援力の向上に努めています。今後も、保護者同意のもと連携を進めていきます。</li> <li>家庭支援プログラムは集まりや密を避けるために中止したり、内容を変更(Q&amp;A形式のお便りや資料提供など)して行いました。心配が多い就学に関しては、事前アンケートでニーズを把握し、例年の座談会よりも多くの事例紹介をするなどお便りを充実させました。今後も、個々に合わせた丁寧な相談や意味のある情報発信に努めていきます。</li> <li>今年度は、グループ療育後の振り返りの場を継続して提供しました。その時間を有意義と感じていただき、改めて機会を設定してほしい等の更なるご要望もあり、保護者連携の期待を改めて感じています。ご希望に合わせて、より充実した連携支援が提供できるよう今後の検討に繋がっていきます。</li> </ul>
保護者への説明等	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者面談や育児相談に関して8~9割の方に満足いただいた。</li> <li>情報発信に関する項目で、回答を迷われた保護者が3割ほどおり、発信や周知の仕方に工夫が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者や専門職が連携して保護者相談に対応しています。お子さんの発達状況について共通理解をもった適切な助言を行うことで、保護者の悩みや不安を軽減できるよう今後も丁寧な相談支援に努めていきます。</li> <li>年間予定表を配付して家庭支援プログラムの見通しがたつようにしたり、掲示板を整理して各種情報の発信の仕方を工夫しました。感染症対策として、速やかな退室をお願いしているため、ご覧いただく余裕がないかもしれませんが、引き続き掲示のタイミングでアナウンスするようにしていきます。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルや避難訓練についての設問で回答を迷われた保護者が3~4割いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルを策定して職員に周知徹底しているほか、必要に応じてピンポイントで情報掲示を行っています。</li> <li>保護者を行う避難訓練は避難経路確認のみですが、職員は会館の消防計画等に基づく年3回の避難訓練を実施しています。今年度も、感染症対策のため図上訓練に変更して実施予定です。</li> </ul>
安心・満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>制限があるなかでの工夫した療育提供に関して、多くの方にご理解をいただいた。</li> <li>9割強の保護者に満足と回答をいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策については多くの保護者にご安心をいただきました。頻度等は不足と感じるご意見もあり、療育に対する期待として受け止めています。安心・安全に、かつ多くのお子さんに行き届く支援を検討した体制であることをご理解いただけますよう改めてお願いいたします。引き続き、より質の高い支援が提供できるよう創意工夫を積み重ねていきます。</li> <li>ご要望の全てに応じるのは難しいですが、今後も一人ひとりのお子さんご家族に合わせた支援を心掛け、少しでも満足に近づけるよう努めていきます。</li> </ul>